

2021 年度 第 4 回常任理事会：議事録

日 時：2021 年 10 月 2 日（土）

午後 2 時 00 分～午後 3 時 10 分

場 所：オンライン会議（Zoom 利用）

出席者：古屋健（理事長），田中真介（副理事長），
上瀬由美子，軽部幸浩，川本利恵子，
木村友昭，桐生正幸，小林剛史，
田中堅一郎，谷口淳一（以上，常任理事）
松田浩平*（第 87 回大会委員長），来田宣幸
（第 88 回大会委員長）

事務局：軽部幸浩（事務局長），小林麻衣，時田学
（以上，幹事）
（*は欠席者：敬称略，五十音順）

I 報告事項

1. 理事長挨拶（古屋健理事長）

・理事長より，オンライン会議の開催について
先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）

- ・2021 年 11 月発刊予定の『応用心理学研究』第 47 巻 2 号について，9 月末時点で原著 2 本，資料 1 本，短報 3 本，追悼 1 本の掲載が決まっていることが説明された。
- ・2021 年 9 月 30 日現在，2021 年 4 月から 2021 年 9 月までの投稿数は，原著 10 本，資料 3 本，短報 3 本，実践報告 1 本の合計 17 本であった。
- ・倫理的配慮の記述および担当編集委員による確認作業に関する申し合わせの作成について，現在進行中であることが説明された。
- ・『応用心理学研究』審査規程の改訂について，現在内規を修正中であることが説明された。

2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

- ・「カスタマーハラスメント」の企画を現在計画中であることが説明された。

3) 広報委員会（谷口淳一委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』Vol.14 の大会関連記事について，執筆者に依頼中であることが説明された。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）

- ・特になし

5) 国際交流委員会（川本利恵子委員長）

- ・特になし

6) 学会賞選考委員会（木村友昭委員長）

- ・優秀大会発表賞の投票が現在受付中であることが説明された。

7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）

- ・若手会員研究奨励賞規定改正の承認を受け，規程改正に関わる作業を行ったことが報告された。

8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（川本利恵子委員長）

- ・現時点では前回の受賞者以降の応募がないことが説明された。

9) 倫理委員会（田中真介副理事長）

- ・特になし

10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）

- ・特になし

3. 日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）

- ・特になし

4. 心理学検定について（小林剛史担当常任運営委員）

- ・今後は「受験者数」ではなく「配信数」を確認することになったことが説明された。

5. 終身会員候補者について（古屋健理事長）

- ・終身会員規程に基づき，終身会員候補者一覧について説明がなされ承認された。

6. 2021 年度第 87 回大会について（代読：古屋健理事長）

- ・業者に依頼していた口頭発表の記録動画編集作業が遅れたことにより，Web 大会の開催期間を 2 週間延長したことが説明された。

7. 2021 年度会員総会について（軽部幸浩事務局長）

- ・2021 年度会員総会のアクセス数は 60 件程度、質問 0 件であったことが説明された。
- 8. 2022 年度第 88 回大会について（来田宣幸大会委員長）
 - ・日本心理学会第 86 回大会の開催時期の重複を考慮し、大会開催日を 9 月 17 日（土）、18 日（日）に変更することが説明された。
- 9. その他
 - ・特になし。

II 審議事項

1. 日本心理学諸学会連合からの意見聴取に関する件（古屋健理事長）
 - ・裁判所への提訴に関する回答書について説明がなされ、事後承認された。
2. 名誉会員推戴に関する件（古屋健理事長）
 - ・名誉会員規程に基づき、終身会員候補者 3 名について審議がなされ、承認された（内 1 名に対しては名誉会員規程第 2 条「(3) その他、本学会に特に顕著な功労があったと認められる者」の該当者として審議がなされた）。
 - ・名誉会員規程第 2 条 (3) の該当基準について審議され、「大会委員長」、「理事」を 1 期以上務めた経験をもつことを基準とすることが承認された。

※次回の常任理事会は、2022 年 12 月 11 日に開催（会場は未定）される。

以上

2021 年度 第 5 回常任理事会：議事録

日 時：2021 年 12 月 11 日（土）

午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分

場 所：東洋大学白山キャンパス 1 号館 3 階 1311 教室（Zoom 併用）

出席者：古屋健（理事長）、田中真介（副理事長）、上瀬由美子、軽部幸浩、川本利恵子、木村友昭、桐生正幸、小林剛史*、田中堅一郎、谷口淳一*（以上、常任理事）松田浩平（第 87 回大会委員長）、来田宣幸*（第 88 回大会委員長）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、小林麻衣、時田学*（以上、幹事）

（*は欠席者：敬称略、五十音順）

I 報告事項

1. 理事長挨拶（古屋健理事長）
 - ・理事長より、オンライン会議の開催について先生方へ感謝の言葉が述べられた。
2. 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）
 - ・2021 年 12 月発刊予定の『応用心理学研究』第 47 巻 2 号について、現時点で原著 1 本、資料 2 本、短報 3 本の掲載が決まっていることが説明された。
 - ・2021 年 11 月 23 日現在、2021 年 4 月から 2021 年 11 月までの投稿数は、原著 18 本、資料 2 本、短報 3 本、実践報告 1 本の合計 23 本であった。
 - 2) 企画委員会（桐生正幸委員長）
 - ・2021 年度公開シンポジウム「カスタマーハラスメント—心理学的アプローチの可能性を探る—」が本日開催されたことが報告された。
 - 3) 広報委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
 - ・『応用心理学のクロスロード Vol.14』の作成について報告された。
 - 4) 「応用心理士」認定審査委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
 - ・特になし
 - 5) 国際交流委員会（川本利恵子委員長）
 - ・特になし

- 6) 学会賞選考委員会（木村友昭委員長）
 - ・第87回大会優秀大会発表賞の選考結果について報告された。
- 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）
 - ・若手会員研究奨励賞募集状況とその対応について報告された。
- 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（川本利恵子委員長）
 - ・特になし
- 9) 倫理委員会（田中真介副理事長）
 - ・特になし
- 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）
 - ・特になし
3. 日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）
 - ・「心理学能力検定」商標登録に関する協議結果が報告された。
4. 心理学検定について（代読：軽部幸浩事務局長）
 - ・第14回心理学検定開催について報告された。
 - ・2021年12月31日をもって心理学検定運営委員、常任運営委員の任期が終了することが報告された。
5. 2021年度第87回大会会計報告について（松田浩平大会委員長）
 - ・第87回大会の会計（概算）について報告された。
6. 2022年度第88回大会について（代読：軽部幸浩事務局長）
 - ・会場および施設使用料金について報告された。
 - ・大会参加や研究発表申込期限等のスケジュールや企画については現在検討中である。
7. その他
 - ・特になし。

II 審議事項

1. 優秀大会発表賞の選考に関する件（木村友昭委員長）
 - ・第87回大会優秀大会発表賞（口頭発表、ポスター発表）の審査方針が説明された後、各

部門の候補者が推薦され、審議の結果承認された。

【口頭発表】

コロナ禍における若年従業員の自律的職務行動に向けた支援型リーダーシップの役割—媒介モデルの検討—

竹内倫和（学習院大学）・石田将（富士ソフト株式会社）・枝卓也（株式会社埼玉りそな銀行）・杉山彰英（テルモ株式会社）・塚本正樹（富士ソフト株式会社）・野田幸紀（NEC マネジメントパートナー株式会社）・長谷川達哉（ENEOS 株式会社）

【ポスター発表】

[第1部門] 原理・認知・感情

マンガの読み時間から読み手の性格を推定する

和田裕一（東北大学）

[第2部門] 教育・発達・人格

一般大学学生の教師に関するイメージの調査について

軽部幸浩（日本大学）・藤田主一（日本体育大学）

[第3部門] 臨床・福祉・相談

該当なし

[第4部門] 健康・看護・医療

子育て女性の健康増進および心理的ウェルビーイング向上を目的としたランダム比較試験—対人関係向上動画プログラム＝HIPCom（ヒプコム）の開発および効果検証—

島田恭子（東洋大学現代社会総合研究所）・染矢瑞枝（一般社団法人ココロバランス研究所）・桐生正幸（東洋大学）

[第5部門] 犯罪・社会・文化

接客対応者へのカスタマーハラスメントにおける COVID-19 の影響

桐生正幸（東洋大学）・島田恭子（東洋大学）・染矢瑞枝（一般社団法人ココロバランス研究所）

[第6部門] 産業・交通・災害

継続する自然災害による被災者への長期的影響—2000年三宅島噴火から20年後の被災者の

精神健康調査から—

大森哲至（帝京大学）

[第7部門] スポーツ・生理

日体大版剣道イメージ尺度（NIKS）の作成

（1）—研究目的と予備的調査について—

古澤伸晃・新里知佳野・八木沢誠（日本体育大学）・軽部幸浩（日本大学）・藤田主一（日本体育大学）

2. 新入会員審査および会員異動に関する件（軽部幸浩事務局長）

・2021年12月3日現在の会員異動

入会者：12名，退会者：6名。

一般会員：985名，院生会員：51名，学生会員：2名，賛助会員：2名，名誉会員：29名，終身会員：55名，会員合計：1,124名である。

・1名から終身会員の申請があったことが報告された。本来であれば申請の翌年度から適用されるが，終身会員資格の年齢をすでに満たしていることから今年度から対応することが説明され，承認された。また，今後類似したケースが生じた場合は，審議には挙げず同様の対応をとることが承認された。

※次回の常任理事会は，2022年3月に立正大学心理学研究所で開催予定である。

以上

日本応用心理学会第87回大会（東北文教大学）会計報告

収入			支出		
項目内訳	金額	項目計（円）	項目内訳	金額	項目計（円）
① 大会参加費		¥767,000	① IBI学会事務委託費		¥260,135
正会員	¥589,000		大会通信発送手数料	¥25,850	
正会員院生	¥41,000		宛名ラベル代	¥8,290	
非会員一般	¥130,000		領収書作成費	¥5,995	
非会員院生	¥7,000		大会受付事務局業務	¥220,000	
② 研究発表費		¥586,000	② 講師謝礼等		¥49,903
正会員	¥382,000		特別講演講師商品券	¥9,903	
正会員院生	¥0		大会シンポジウム謝金	¥40,000	
非会員一般	¥192,000				
非会員院生	¥12,000		③ 印刷費		¥312,741
③ 自主企画WS企画費		¥10,000	大会通信1号	¥15,730	
④ 論文集代		¥90,000	角2封筒	¥76,450	
⑤ 広告費（2社）		¥60,000	大会案内	¥8,041	
⑥ 学会本部補助		¥800,000	大会論文集	¥212,520	
⑦ その他		¥10,003	④ オンラインサポート費		¥434,294
研修会証明書費	¥5,000		特別講演動画編集費	¥30,000	
寄付金	¥5,000		大会サポート費	¥404,294	
利子受取	¥3		⑤ オンライン用品		¥33,861
			ヘッドホン等	¥33,861	
			⑥ 交通費		¥87,780
			事務局交通費補助	¥87,780	
			⑦ 昼食費		¥23,650
			スタッフ用	¥23,650	
			⑧ 会議費		¥45,579
			茶菓子等代	¥45,579	
			⑨ 通信費		¥143,518
			大会通信1号発送費	¥104,215	
			大会論文集発送費	¥11,491	
			大会案内発送費	¥4,340	
			その他送料	¥23,472	
			⑩ その他		¥7,085
			振込手数料	¥4,895	
			クオカード代	¥1,590	
			梱包資材	¥600	
			⑪ 学会本部への返金		¥924,457
収入合計		¥2,323,003	支出合計		¥2,323,003

以上の通り、相違ありません。

令和4年2月2日

日本応用心理学会第87回大会実行委員長（東北文教大学）

松 田 浩 平

会員異動

(2021年9月28日～2022年1月31日の異動)

入会者

秋山 史子	磯和 壮太郎	今井田 貴裕
王 一然	黄田 常嘉	加藤 佳子
佐藤 るみ子	庄司 正実	田村 千里
塚田 直也	濱田 綾	堀本 菜美
増田 実菜	柳原 拓也	山崎 梨花子
山田 快		

(以上、敬称略)

退会者 (希望退会)

秋山 俊夫	植田 健太郎	潮 みゆき
川崎 健輔	桑名 美保	庭野 匠
東出 尚子	福重 真美	福島 泰子
堀 直人	水野 壽子	山口 創

(以上、敬称略)

謹弔

名誉会員の秋山俊夫氏 (1931年9月3日～2021年2月6日) が、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

訂正

応用心理学研究第47巻2号の会員異動につきまして、記載内容に誤りがございましたので訂正させていただきます。

事務局長 軽部幸浩

会員異動

(2021年5月26日～2021年9月27日の異動)

入会者

異儀田 はづき	石田 拓矢	雲財 啓
大川 浩二	大下 里	温泉 美雪
木内 敦詞	木曾 結乃	左 婉馨
島田 恭子	高梨 友也	中雄 勇人
西田 順一	西村 春輝	村山 陽
本原 琴美	若林 鉄也	

(以上、敬称略)

心理学検定のご案内

心理学検定は、本会を含む心理学関係56学会が加盟する一般社団法人日本心理学諸学会連合が2008年から年1回実施する事業であり、2021年からCBT (Computer Based Testing) を導入し、2023年からは年2回の試験を行います。心理学検定は、全国47都道府県の会場で同一のコンピュータ・システムを用い、厳格な本人確認と不正防止の体制のもとに行われます。

心理学検定は、学部における心理学教育のアウトカムを測るために適していますが、さらに年2回実施によって、大学院入試の合否判定資料としての利用が拡大していくことも期待されます。

心理学検定10科目 (A領域5科目とB領域5科目) の内容は、公認心理師国家試験の学部科目と重なる部分が多いですが、これは共に心理学全体を俯瞰する試験であることによります。

心理学検定		公認心理師 (学部科目)	
A 領域	原理・研究法・歴史	心理学研究法	心理学実験
A 領域	学習・認知・知覚	学習・言語心理学	知覚・認知心理学
A 領域	発達・教育	発達心理学	教育・学校心理学
A 領域	社会・感情・性格	感情・人格心理学	社会・集団・家族心理学
A 領域	臨床・障害	臨床心理学概論	障害者・障害児心理学
B 領域	神経・生理	神経・生理心理学	
B 領域	統計・測定・評価	心理学統計法	心理的アセスメント
B 領域	産業・組織	産業・組織心理学	
B 領域	健康・福祉	健康・医療心理学	福祉心理学
B 領域	犯罪・非行	司法・犯罪心理学	

試験はA領域とB領域を別々に受けるものですが、1回に両方の受検を申し込むと検定料が割引され、20人以上の団体受検にも割引制度が用意されています。

心理学検定ホームページ: <https://jupaken.jp/>